

地方独立行政法人さんむ医療センター
第3期中期目標期間の業務実績に
関する評価結果

第3期（平成29年4月1日～令和2年3月31日）

令和2年7月

山武市

目 次

*** 中期目標期間の業務実績評価の考え方 ***

〈評価の基本方針〉	1
〈評価の方法〉	1

*** 第3期中期目標期間の業務実績に関する評価結果 ***

1 全体評価	
(1) 項目別評価結果	3
(2) 全体評価に当たって考慮した事項	3
(3) 課題・改善の必要な事項について	4
(4) その他	5
○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿	6
○令和2年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過	6

*** 中期目標期間の業務実績評価の考え方 ***

地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、平成 22 年 4 月 1 日に設立された地方独立行政法人さんむ医療センター（以下「さんむ医療センター」という。）について、第 3 期中期目標期間の業務実績に関する評価を行った。

<評価の基本方針>

- (1) 中期目標・中期計画の達成状況等からさんむ医療センターの業務運営等に関して多面的な観点から総合的に評価を行い、さんむ医療センター運営の質的向上に資するものとする。
- (2) 評価を通して、中期目標・中期計画の達成状況や取り組み状況を市民に分かりやすく示すものとする。
- (3) 業務運営の改善や効率化等の特色ある取り組みや様々な工夫を積極的に評価するものとする。
- (4) さんむ医療センターを取り巻く環境の変化等を踏まえ、必要に応じて評価の方法を見直すものとする。

<評価の方法>

さんむ医療センターから提出された第 3 期中期目標期間の業務実績に関する報告書における平成 29 事業年度、平成 30 事業年度、令和元事業年度の業務実績に関する評価結果を基に、総合評価を項目別に行った。

(1) 項目別評価の方法

項目別評価は、以下の市による、①小項目評価、②大項目評価の手順で行った。

① 小項目評価

市において、法人の自己評価及び目標設定の妥当性などを総合的に検証し、小項目ごとの進捗状況について総合評価を行った。

② 大項目評価

市において、小項目評価の結果、特記事項の記載内容等を考慮し、大項目ごとの総合評価を行った。

大項目・小項目の評価方法

大項目評価は、大項目ごとに中期目標・中期計画の達成に向けた進捗状況について、次の 4 段階により評価する。

- A：中期目標・中期計画の達成が計画どおりに進んだ
- B：中期目標・中期計画の達成が概ね計画どおりに進んだ
- C：中期目標・中期計画の達成が十分でない
- D：中期目標・中期計画の達成においては改善事項あり

(2) 全体評価の方法

- ① 市において、項目別評価の結果を踏まえ、全体的な業務実績について、記述式による評価を行った。
- ② 全体評価においては、地方独立行政法人化を契機とした病院改革の取り組み（さんむ医療センター運営における自律性・機動性の発揮、財務内容の改善、病院運営の透明性の向上など）を評価した。

第3期中期目標期間の業務実績に関する評価結果

全体評価

地方独立行政法人さんむ医療センターは、平成22年4月1日に地方独立行政法人として設立され、救急医療や住民が求める医療サービスの提供に努めるとともに、地方独立行政法人制度の特徴を生かして、サービスの向上と経営の効率化等について積極的な取り組みを行い、患者及び住民の医療ニーズに対し最大限に応えていくことを使命とし、「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」という基本的な目標のもと、地域の中核病院として、地域の後方支援病院の立場から、救急医療や一般・高度医療を行い患者サービスの向上に努めた。

第3期中期目標期間において、地方独立行政法人制度の特長である自主性・自律性を発揮し、地域医療の拠点として、前期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ更なる充実を図ると共に、職員が一丸となって医療・保健・介護を検診から在宅まで三位一体で切れ目なく地域住民に提供し安心して暮らすことができる病院運営に取り組んだ結果、中期目標を達成している項目と達成していない項目があったが、医療サービスの向上、病院運営の収支の向上に成果をあげたことは評価できる。

(1) 項目別評価結果 別紙第3期中期目標期間の業務実績に関する報告書のとおり

第3期中期目標期間の業務実績については、以下6つの大項目

- ① 「第2 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」 B評価
- ② 「第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項」 B評価
- ③ 「第4 予算(人件費の見積りを含む)、収支計画及び資金計画」 B評価
- ④ 「第7 剰余金の使途」 A評価
- ⑤ 「第8 料金に関する事項」 B評価
- ⑥ 「第9 その他業務運営に関する重要事項」 B評価

の評価において、4段階の評価区分によりA評価1件、B評価5件とした。

(2) 全体評価に当たって考慮した事項

- ① 「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」の面では、常勤医師の増加に努め、一般病棟入院基本料7対1の算定適用、地域医療がん診療病院の指定、休日当番体制や二次救急医療輪番体制等救急医療への取り組みを評価する。一方、看護師の離職率増加及び人数が目標に達しなかったことを配慮しB評価とした。

(特筆すべき取り組み)

- ・常勤産婦人科医、常勤小児科医の確保に努め、「産み育てられる街」として充実を図ったこと。
- ・医師数について着実に増えていること。
- ・高度医療機器稼働状況について年々増加していること。
- ・地域医療連携の推進においては、平成28年4月厚生労働省より「地域がん診療病院」として指定を受け、グループ指定病院として地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院と連携体制を構築し、がん拠点病院のない医療圏のがん医療の向上に努めたこと。
- ・看護師の人材確保育成に努めているが、離職率増加及び人数が目標に達しなかったこと。
- ・地域の骨粗鬆症治療率、治療継続率の低さを改善すべく、診療所との連携による紹介制骨粗鬆症専門外来の活動を積極的に行うとともに市と連携して講演や市民講座を実施し、骨粗鬆症の理解を深める広報活動を実施したこと。

- ②「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」の面では、緩和ケア医療の推進、DPC活用、地域包括ケア病棟開設等病床利用率の向上と効果的な業務運営を図った収益の増収を図っている。一方、人件費比率が依然数値が高く **B** 評価とした。

(特筆すべき取り組み)

- ・DPC活用により病院経営の充実を図ったこと。併せて効果的な後発医薬品（ジェネリック）の採用促進等を図った。
- ・病院建設については、29年度に建替整備基本構想を策定し、30年度については基本計画の策定をしたこと。
- ・再雇用制度を活用し、看護師等の効率的な人員配置を図ったこと。

(3) 課題・改善の必要な事項について

次期中期計画期間に向けての課題及び改善事項は次のとおりである。

- ・地方独立行政法人病院としての運営管理体制の維持向上に努め、今後の医療環境の変化によって、迅速効率的かつ効果的な業務改革を図ることとし、安定した医療サービスの提供を目指すこと。
- ・地域医療連携の推進として、地域の中核的病院として使命を果たすため、地域医療機関との連携を密にし、紹介者を積極的に受け入れるとともに病状の安定した患者に対しては地域の医療機関への紹介を進める。また、医療連携のためのICTの推進について、施設整備に伴って進めることを検討すること。
- ・職員への子育て支援が離職率の低下につながる。職場環境を充実させる中で、院内保育をより充実させるなど、特に女性が働きやすい環境を作り、子育て

支援について考慮すること。また、正規職員の短時間勤務制度等を実施することにより職員の働きやすく働き甲斐のある就労環境の整備に努めること。

- ・二次救急を担う地域の公的中核病院として、一般急性期医療を中心として提供し、在宅医療を支援する病院として、幅広い医療を行い、近隣医療機関との連携を強化し、地域住民に対して医療及び介護を包括的に提供できる体制を構築する。
- ・地域医療のレベル向上へ貢献するため総合医の育成の強化を図る。
- ・事務職の体制が十分に整っていない。今後の業務運営においてプロパー職員の育成が急務である。
- ・人件費比率については、向上に努めること。

(4) その他

引き続き、地域の中核病院として、患者中心の医療を行い、信頼される病院運営を行うと共に医師・看護師の確保や人材を育成するなど、就労環境の向上に努め、さらなる安心で信頼できる良質な医療を提供できるよう取り組まれない。

新型コロナウイルス感染症拡大に備え、感染症病床又は予備病床の整備に努めること。

建替整備については、計画通り進めることに期待する。また、199床に備えて職員数（職種別割合等）について考慮すること。

○地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会 委員名簿

区 分	氏 名	役 職 等
委 員 長	村 上 信 乃	地方独立行政法人 総合病院 国保旭中央病院 名誉院長
副 委 員 長	長 隆	監査法人 長隆事務所 代表社員
委 員	伊 藤 よしみ	山武市三師会 会長
委 員	井 上 智 子	国立看護大学校 校長
委 員	懸 川 友 人	城西国際大学 薬学部 学部長
委 員	加 藤 誠	成田赤十字病院 名誉院長
委 員	亀 田 信 介	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 院長
委 員	松 原 久 裕	千葉大学 大学院医学研究院 教授

(敬称略、委員は五十音順)

○令和2年度地方独立行政法人さんむ医療センター評価委員会開催経過

日 程	審 議 議 題
新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から書面による評価を実施しました。	(1) 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける令和元事業年度業務実績の評価に関する意見について (2) 財務諸表への意見について (3) 地方独立行政法人さんむ医療センターにおける第3期中期目標期間業務実績の評価に関する意見について (4) 新公立病院改革プランの進歩について